

平成二十一年四月二日提出  
質問第一七一号

海上自衛隊の特殊部隊における隊員の死亡事件に係る防衛省の調査に関する第三回質問主意書

提出者 鈴木宗男

海上自衛隊の特殊部隊における隊員の死亡事件に係る防衛省の調査に関する第三回質問主意書

「前回答弁書」（内閣衆質一七一第一三九号）を踏まえ、再度質問する。

- 一 昨年九月、広島県江田市にある海上自衛隊の特殊部隊「特別警備隊」隊員を養成する第一術科学校の特  
別警備課程において、一人で十五人を相手にする格闘訓練を受けていた男性三等海曹が意識不明になり、  
約二週間後に死亡した事件（以下、「三等海曹死亡事件」という。）が発生したことについて、「前回答  
弁書」では「御指摘の海上自衛隊における死亡事案については、当該事案の解明に向けて、引き続き厳正  
に海上自衛隊呉地方総監部幕僚長を長とする事故調査委員会における調査が行われているとともに、海上  
自衛隊警務隊による捜査も引き続き行われているところである。」と、未だ海上自衛隊の事故調査委員会  
による調査と、海上自衛隊警務隊による捜査が完了していないことが明らかにされている。年度が変わっ  
た本年四月二日現在、「三等海曹死亡事件」に係る調査及び捜査はどのような進捗状況を見せているか説明  
されたい。

- 二 海上自衛隊呉地方総監部並びに事故調査委員会、海上自衛隊警務隊において、新年度を迎え、「三等海  
曹死亡事件」の調査及び捜査を担当している職員に異動は生じているか。

三 二で、異動が生じているのなら、「三等海曹死亡事件」に対する調査及び捜査に支障を来しているということはないか。

四 そもそも「三等海曹死亡事件」の真相解明に、こんなにも長い時間がかかっているのはなぜか。「前回答弁書」では何ら明確な答弁がなされていないところ、再度質問する。

右質問する。